

堤防強化で人命被害等のリスクを軽減 (栃木県栃木市)

事業者：国土交通省 関東地方整備局 渡良瀬川河川事務所

I-1 大規模な浸水、土砂災害、地震・津波等による被害の防止・最小化



渡良瀬川の堤防（堤防断面の拡幅を実施）

平成30年6月時点



I-2 救助・救急、医療活動などの災害対応力の確保

対策名：No.1 全国の河川における堤防決壊時の危険性に関する緊急対策

事業名：渡良瀬川直轄河川改修事業

ポイント ● 堤防の拡幅により堤防強化を行うことで、堤防決壊に伴う甚大な人命被害等のリスクを軽減

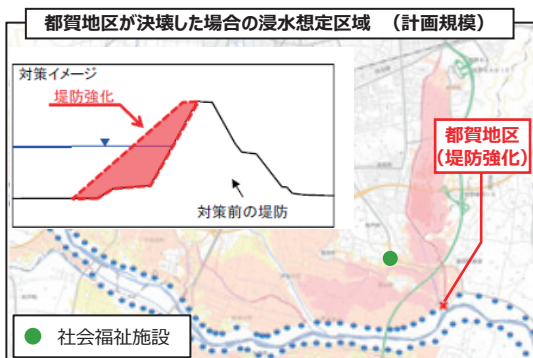
地域の概要・課題

栃木市都賀地区は、堤防が決壊し氾濫した場合の湛水深は2m～5mと想定されます。

浸水想定区域内には社会福祉施設等の重要施設や交通機関もあり、甚大な人命被害・社会経済被害等が生じる恐れがあります。

事業の概要

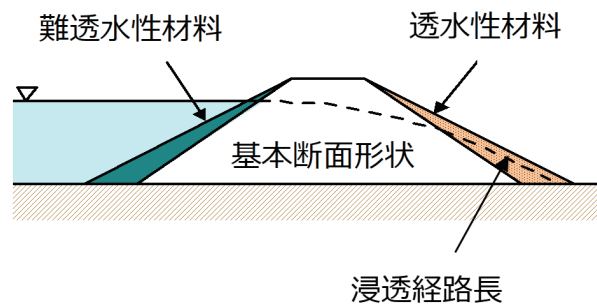
堤防の拡幅を行い、堤防の強化を行います。



【見込まれる効果】

堤防へ河川水等が浸透することによる漏水を防止します。また、堤防を拡幅する際、法面を緩傾斜の一枚法にすることで安定性を向上させます。

これらにより、堤防決壊に伴う甚大な人命被害等のリスクを軽減します。



I-3 避難行動に必要な情報等の確保